

Sow the Seeds of Love



慈愛の種を
播きましょう

2002-2003年度 国際ロータリーのテーマ

RIテーマ

Weekly Report



クラブ会長テーマ

和楽、そして慈愛の種を播こう!

2002-10-30 第580回例会 NO. 13-16 2002-11-6 発行

ガバナー公式訪問 3RC 合同例会

◎司会 東京多摩GRC SAA委員長 小泉 博

◎点鐘

東京多摩RC (1628回) 会長 水野 晴行
東京稲城RC (1435回) 会長 関谷 宗道
東京多摩GRC (580回) 会長 小坂 一郎

◎国歌斉唱「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」

ソングリーダー 菊池 敏

四つのテスト唱和

副会長 佐伯 和廣

◎お客様紹介 東京多摩GRC 会長 小坂 一郎

・ガバナー 松崎 勝一 様
・ガバナー補佐 有山 実 様
・グループ幹事 小西 弘純 様

◎会務報告

会長 小坂 一郎

- ・本日松崎ガバナー、有山ガバナー補佐と午後4時～5時迄の1時間の懇談をさせて頂き、当クラブのことに關してご説明させて頂きました。
- ・先週、次年度2003年～2004年度の役員、理事の選任をするにあたり候補者の指名委員を発表致しましたが、本日委嘱状を後程お渡し致します。

◎幹事報告

幹事 平野 行廣

- ・地区より「チャリティー観劇会」のご案内がきております。ロータリー100周年に向かって全世界のポリオ撲滅の為のキャンペーンで今年度最重点プログラムに加えられたものです。
- 日時は2003年1月22日、明治座での「あばれ獅子」です。出来るだけご協力頂ければありがたいです。

【委員会報告】

◎出席報告

出席委員会 加藤喜三郎

- ・会員総数 43名
- ・出席義務者数 42名 (出席免除者5名)
- ・出席者数 38名
- ・欠席者数 4名 (事前MU0名)
- ・出席率 90.48%
- ・欠席者: 藤原 正範、福島 達也、杉野志保子、由井 眞司
- ・補填MU: なし

10/16 最終訂正出席率 82.93%

◎ニコニコBOX

親睦活動委員会 海野 榮一

- 小坂 一郎 松崎ガバナー、有山ガバナー補佐、本日はありがとうございました。雲ひとつなく、私の心を表しているようで。楽しい例会となりますように。
- 平野 行廣 ガバナー訪問、無事終わりました。有意義な話ありがとうございました。
- 赤尾 恭雄 松崎ガバナー、ようこそお越し下さいました。卓話を楽しみにしております。
- 村上 久 三クラブ合同例会を祝して。
- 津守 弘範 三クラブ合同例会を祝して。
- 伊澤ケイ子 誕生祝ありがとうございました。
- 菊池 敏 合同例会楽しみにしています。
- 藤本 吉文 合同例会楽しみです。
- 北村 幸彦 三クラブ合同、ガバナー訪問を祝して。
- 海野 榮一 三クラブ合同、ガバナー訪問を祝して。
- 足立潤三郎 三クラブ合同、ガバナー訪問を祝して。
- 高村 弘 三クラブ合同おめでとうございます。
- 小林 正 本日は三クラブ合同例会、皆様宜しくお願ひ致します。
- 萩生田茂夫 おめでとうございます。
- 加藤喜三郎 松崎ガバナー、ようこそお越し下さいました。卓話楽しみです。
- 関岡 俊二 松崎ガバナー、ようこそ

東京多摩グリーンロータリークラブ事務局

東京都多摩市落合1-43 京王プラザホテル多摩561号
TEL 042(372)6463 FAX 042(372)6491
E-mail tamagrc@cello.ocn.ne.jp

【例会場】京王プラザホテル多摩・たまつばき4階

【例会日】●毎週水曜日12:30 ●月の最終例会18:30

【会長】小坂一郎 【幹事】平野行廣 【委員長】藤原正範 【副委員長】杉野志保子

【委員】阿部華歌・赤尾恭雄・藤本吉文・小林正・関岡俊二・吉沢洋景・正房正孝

田島真由美 合同例会を祝して

本日の合計 ¥ 23,000 (累計 ¥ 433,250)

◎卓話 第2750地区ガバナー 松崎 勝一 様



皆さん今晚は、今年度ガバナーを仰せつかりました松崎勝一です。先程、多摩ロータリークラブ、稲城ロータリークラブ、多摩グリーンロータリークラブの会長、幹事、会長エレクトの方々と有意義な懇談をさせて頂きました。

皆さんのお陰で、今年度の3分の1が経過致しました。本年度のRI会長の年次テーマである「慈愛の種を播きましょう」の為に、この4ヶ月間、それぞれのクラブで種を播いたあと、仕込みの時期が一応終わり、これから残り8ヶ月に向けてそれを育てて頂き収穫を得る事を心がけて下さい。

RI会長ビチャイ・ラタクル氏の主張は3つのキーワードからなっております。

第1は、ロータリーにおける基本原則、それは職業奉仕というものゝが原点であり、その職業奉仕を中心とした4大奉仕です。

第2は、「慈愛の種」です。この年次テーマは、昨年の米国同時多発テロに見られる、様々な対立の中から、今求められているのは「パンよりも愛ですよ！」と云うことです。パンに飢えているより、愛に飢えている世界の現状です。愛の真心から出た慈愛の種を、まず自分のクラブに播いて下さい。次に職場に播いて下さい。地域社会に、そして国際社会に播いてください。

第3は、「ボトルアップ」です。ロータリー活動を行うのはRI会長でもなければ、理事でもない、ガバナーでもないのです。それは各クラブなのです。そして一人一人のロータリアンなのです。下から盛り上がる草の根レベルのボトルアップなのです。特に地域に密着した奉仕活動を進めて下さい。

以上の3つのキーワードが本年度の大きなテーマですが、私としてはさらに「5つのリクエスト(要請事項)」と「十のリコメンテーション(推奨項目)」を提示させて頂きます。(ガバナー月信9月号を参照のこと)これらは各クラブの実状に応じた形で運営、活動を行っ

て頂ければよいと思います。

次にロータリーは、教義、経典のある宗教団体でもなければ、体系的理論書のある政治団体でもありません。むしろ「ロータリーの綱領」がロータリーの憲法だと思います。従ってこの綱領を基本原則として、実践する為の手段方法を4大奉仕を通して行ってもらいたいと思います。特に職業奉仕が原則であり、あらゆる奉仕活動をおこなっているのがロータリーであります。

ロータリーの目的は「親睦と奉仕」でありますので、これをふまえたクラブの運営を行ってもらいたいと思います。これを達成する手段として、会員、資金、情報がありますが、目的と手段をはきちがえない様にしてもらいたいと思います。

さらに「自分の人生にロータリーを刻んで下さい。」とラタクル会長が言っております。

ラタクル会長は、これからのロータリーについてタイ国のことわざを引用しています。

「足跡を忘れた牛は次の第1歩を踏み出す事をあやまる」

ロータリーが100年近く積み上げてきたロータリーの鉄則、理念を忘れると、ロータリーがどちらへ進み出すかわかりませんよと警告し、戒めています。

近年女性会員が目覚ましい活躍をしています。女性会員について月信ガバナー11月号に書かしてもらいましたのでお読み頂きたいと思ひます。



最後に

積善の家に余慶(よろこび)あり。
積悪の門に余殃(とがめ)とどまる。

を結びと致します。

◎点鐘

会長 小坂 一郎

(今週の担当 関岡 俊二)